

時計/温度湿度計

with 熱中症・風邪警報

熱中症の危険をアラームでお知らせ

商品取扱説明書

Ynac Co.,Ltd.

No. TH701

この度は弊社商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

警告

△電池を直接はんだ付け、分解、過熱、火に入れるなどしないでください。発熱、液漏れ、破裂などの原因になります。
△万一、電池溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し眼に入ったときは水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
△電池は飲み込むと窒息や中毒のおそれがあり大変危険です。幼児の手の届かない所に置いてください。
△電池を破棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。

ご使用上のご注意

△極端な低温・高温・湿気の多いところでのご使用はさけてください。故障などの原因になります。
△製品を分解したり、曲げたりしないでください。また、落としたり、強いショックを与えないでください。火中に投げないでください。
△電池が消耗した時は必ず新しい電池と交換してください。消耗した電池を本体内に放置しておきますと液漏れにより故障などの原因となります。
△お手入れの際は、乾いたやわらかい布をご使用ください。シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。

WBGT値と環境アイコンについて

※現在の温度湿度表示のときに環境の状態を8段階にわけて環境アイコンで表示します。



《日常生活における熱中症予防指針》			※日本生気象学会(2008年4月)より	
表示	WBGT	注意すべき生活活動の目安	注意事項	
8 (点滅)	31℃以上	危険	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
7 (点灯)	28℃以上	嚴重警戒		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
6 (点灯)	25℃以上	警戒	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
5 (点灯)	25℃未満	注意	強い生活活動でおこる危険性	一般的に危険性は少ないが激しい運動や重労働には発生する危険性がある。

環境アイコン表示の快適・注意・警戒・危険警報はあくまで空調や体調管理の目安です。
個人差、体調によって感じ方が大きく異なる場合があります。
表示により発生の有無を断定するものではありません。
公的機関から発表される「注意」「警報」などとは一致しない場合があります。

電池交換の方法

電池の容量が少なくなると「B」マークが表示されます。このときは、新しい電池と交換してください。
1.電池蓋を矢印の方向に押しながら持ち上げて取り外してください。
2.古い電池を取り出し新しい電池と2本同時に交換してください。
※このとき過去の温度湿度の記録は消去され、WBGT警報値やアラーム時刻・現在の時刻なども初期設定にリセットされます。(再度、時刻設定などをおこなってください。)

電池蓋

使用電池：単4形乾電池×2本
注)電池の+、-を間違えないようご注意ください。

※付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が1年より短いことがあります。

電池を破棄する際は、お住まいの自治体の指導に従ってください。

システムリセットの方法

「Reset」ボタン(システムリセットボタン)を細い棒などで押してください。
※実際の温度や湿度と液晶画面表示の温度や湿度が異なっていると思われるときにこのボタンを押すと正しい温度湿度に修正します。また、電池交換の時や静電気などの影響により、表示がおかしくなった場合やボタン操作ができなくなった場合に押します。このとき過去の温度湿度の記録も消去され、時刻・アラーム時刻やWBGT警報値も初期設定にリセットされます。(再度、時刻設定などをおこなってください。)

細い棒(楊枝など)

設置について

●壁に設置するときは、壁に適した市販の金具を使用して本体裏面のフック用穴で確実に固定してください。
●置いてご使用になる場合は、転倒しないようにスタンドを開いて平らな所に設置してください。
※無理な加重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

フック用穴(壁掛け用穴)

スタンド

各部の名称と操作方法(1)

①「モード」ボタン：時刻表示からWBGT表示に切り換えたり、時刻表示からアラーム時刻表示に切り換えるときに押します。
②「最高▲」ボタン：現在の温度湿度表示から今日の最高温度湿度・前日の最高温度湿度を表示させたり、設定したWBGT警報値を確認するときに押したり、設定数値を上げるときなどに押します。
③「最低▼」ボタン：現在の温度湿度表示から今日の最低温度湿度・前日の最低温度湿度を表示させたり、設定したWBGT警報値を確認するときに押したり、設定数値を下げるときに押します。
④「設定」ボタン：時刻設定・アラーム時刻設定・WBGT警報値の設定、アラーム・WBGT警報音のオンオフのときに押します。
⑤「Reset」ボタン(システムリセットボタン)：実際の温度や湿度と液晶画面表示の温度や湿度が異なっていると思われるときにこのボタンを押すと正しい温度湿度に修正します。また、電池交換の時や静電気などの影響により、表示がおかしくなった場合やボタン操作ができなくなった場合に押します。このとき過去の温度湿度の記録も消去され、時刻・アラーム時刻やWBGT警報値も初期設定にリセットされます。(再度、時刻設定などをおこなってください。)

各部の名称と操作方法（２）

⚠ 測定上のご注意 センサーが本体内部にあるため、電池を入れた後または設置場所をかえるなど環境が変化した場合は、表示に反映するまでに時間がかかります。
電池をセットしてから設置後、約１時間後に正しい値を表示します。センサーが室内環境になじみ、感知するまでの時間です。（初期設置時のみ）

電池交換の方法にしたがって電池カバーを外し、電池を入れてください。

スタンド

○時刻表示とWBGT表示の切り換え方：「モード」ボタンを押すと切り換わります。

○今日と前日の最高温度・湿度の見方：現在の温度湿度/時計表示のとき「最高▲」ボタンを一回押すと今日の最高温度と湿度を表示しもう一回押すと前日の最高温度と湿度を表示します。もう一度押すと現在の温度湿度の表示に戻ります。
※ボタンを操作しないときは約1分後に現在の温度湿度表示に戻ります。

○今日と前日の最低温度・湿度の見方：現在の温度湿度/時計表示のとき「最低▼」ボタンを一回押すと今日の最低温度と湿度を表示しもう一回押すと前日の最低温度と湿度を表示します。もう一回押すと現在の温度湿度の表示に戻ります。
※ボタンを操作しないときは約1分後に現在の温度湿度表示に戻ります。

OWBGT警報値の見方: WBGT表示のとき「最高▲」または「最低▼」ボタンを押すと設定したWBGT警報値（初期設定は31℃）を約3秒間点滅表示し、現在のWBGT表示に戻ります。

○現在の温度/時刻表示のとき「設定」ボタンを3秒間押し続けると時刻設定モードになり“24H”が点滅します。
「最高▲」ボタンか「最低▼」ボタンを押して“24H”表示か“12H”表示を選択してください。

○もう一度「設定」ボタンを押すと「時」が点滅します。「最高▲」ボタン（数字がアップ）または「最低▼」ボタン（数字がダウン）を押して現在の「時」を設定します。 ※“12H”表示のときはAM・PMが表示されます。
○もう一度「設定」ボタンを押すと「分」が点滅します。「最高▲」ボタンまたは「最低▼」ボタンを押して「分」を設定します。

○もう一度「設定」ボタンを押すと時刻設定が完了します。
※「最高▲」または「最低▼」ボタンを3秒以上押し続けると数字が早送りになります。
※1分間ボタン操作がない場合、表示している時刻に確定します。

- 現在の温度湿度/時刻表示のとき「モード」ボタンを3秒間押し続けるとアラーム時刻表示になります。
- 「設定」ボタンを3秒間押し続けると「時」が点滅し、もう一度「設定」ボタンを押すと「分」が点滅します。時刻の設定方法と同じ方法でアラーム時刻を設定してください。

○もう一度「モード」ボタンを押すとアラーム時刻設定が完了し、現在の温度湿度/時刻表示にもどります。
※1分間ボタン操作がない場合、表示しているアラーム時刻に確定し現在の温度湿度/時刻表示にもどります。
○アラーム時刻表示のとき「設定」ボタンを押すと「▶」マークが点灯しアラームオンになります。（時刻表示に戻ったときも点灯します。）もう一度「設定」ボタンを押すと「▶」マークが消灯しアラームオフになります。
※アラームは約1分間鳴ります。いづれかのボタンを押すと鳴り止みます。

OWBGT表示のとき「設定」ボタンを3秒間押し続けるとWBGT警報値が点滅します。「最高▲」ボタンか「最低▼」ボタンを押して数値を設定してください。 ※設定範囲: WBGT21℃~50℃

※1分間ボタン操作がない場合、表示している警報値に確定し現在のWBGT表示に戻ります

OWBGT表示のとき「設定」ボタンを押すと“”マークが点灯し警報音がオンになります。もう一度「設定」ボタンを押すと“”マークが消灯し警報音がオフになります。

- ・ 30℃に到達すると警報音（ビピー ビピー ---）が10秒間鳴ります。
- ※30℃を超えた状態では20秒ごとに10秒間鳴り続けます。
- ※鳴っているときに、いづれかのボタンを押すと警報音は一旦停止します。
- ※ただし、30℃を超えた状態が続くと約5分ごとに警報音（ビピー）が3回鳴ります。
- ・ 30℃より下がった後、再び30℃になると警報音が20秒ごとに10秒間鳴ります。